

文化団体事業 / 2023ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭

# 039 太鼓の祭典 いしかわ百万石に響く 明日への鼓動

● 開催日：令和5年10月15日(日)  
● 開催会場：金沢歌劇座 大ホール

金沢 エリア  
金沢市



### ◆ 実施状況

地元石川県からの13団体を含む19道県及び台湾から38団体が出演し、郷土色豊かで勇壮な太鼓の響演を行いました。オープニングでは、(公社)石川県太鼓連盟に所属する9団体57名の演奏により、盛大に幕を開け、続く第1部から第2部は全国より応募のあった31団体が各々の特色を活かした演奏を行い、第3部では特別出演として日本を代表する6団体にご出演いただき、演奏ごとに観客から大きな拍手が送られました。

また、休憩時間を利用し、観覧していた子ども達や外国の方々に大太鼓の試し打ちを実際に体験していただき、その大きく響き渡る音に驚いていました。

全国各地で活躍している太鼓団体が、一堂に会して演奏を行うことで、出演者にとっても刺激になり、来場者には、各地を代表する太鼓演奏を一度に鑑賞できるまたとない機会を提供することができました。

#### 【プログラム、出演団体など】

- オープニング演奏 (公社)石川県太鼓連盟・主催者挨拶
- 第1部 公募団体 16団体
- 第2部 公募団体 15団体
- 第3部 特別出演 6団体・フィナーレ

**主催** 文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、公益財団法人日本太鼓財団、公益社団法人石川県太鼓連盟、日本太鼓財団石川県支部 ▽特別協力 北國新聞社、一般財団法人石川県芸術文化協会

文化団体事業 / 2023ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭

# 040 箏曲の祭典 響け!いま石川に結ぶ絃の音、和のこころ

● 開催日：令和5年10月15日(日)  
● 開催会場：石川県立音楽堂 邦楽ホール

金沢 エリア  
金沢市



### ◆ 実施状況

邦楽を愛する石川県内の団体を含む12の都道府県から20団体の参加があり、それぞれの団体が日頃の研鑽の成果を存分に発揮し、邦楽の魅力を広く発信しました。

第1部、第2部では、次世代を担う子ども、高校生、大学生の団体なども含め、幅広い年代の出演者が参加し、曲目も古典から現代曲、創作や洋楽器とのコラボなど多彩な演目が揃い、内容的にも大変充実した演奏会となりました。

第3部では、KOTO ARTIST LEO(今野玲央)さんのコンサートを開催し、一流アーティストが繰り出す多彩で圧倒的な演奏に酔いしれる贅沢な時間を共有しました。

#### 【プログラム・出演団体】

- 第1部：白山市邦楽三曲会、いしかわ子ども邦楽アンサンブル、金沢大学琴尺八部、ひぐらし、徳島県邦楽協会竹保流尺八徳島県支部、音織会、富山県立大門高等学校伝統芸能部、箏・てまり会、秋田県三曲連盟
- 第2部：箏曲正絃社、正派絃の会(伊那三曲協会)、岐阜県尺八こども教室(岐阜県三曲連合会)、岐阜少年少女琴クラブ、和楽器奏団「琳」、加古川市邦楽文化協会、宮城社鈴音会、沢井箏曲院結音会、金沢大学琴尺八部OB会、創明音楽会、石川県箏曲連盟
- 第3部：KOTO ARTIST LEO

**主催** 文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、石川県箏曲連盟 ▽特別協力 北國新聞社、一般財団法人石川県芸術文化協会

041

文化団体事業 / 2023ピエンナーレいしかわ秋の芸術祭

## ななお「俳句の祭典」

- 開催日：令和5年10月15日(日)
- 開催会場：七尾市文化ホール

能登  
エリア

七尾市



## ◆実施状況

「豊かな自然のなかで、七尾の歴史と文化に触れながら俳句を楽しむ」をサブテーマに俳句大会を開催しました。全国の俳句を志す人々と俳句文芸のさらなる向上を目指し、交流を深めました。

事前募集句には8,469句が寄せられたほか、当日投句では、およそ170名の参加者が一本杉通りや七尾城跡など、由緒ある歴史と文化の息づく七尾市内の名所を巡って句を詠み、入選、入賞作品の表彰式を行いました。

【プログラム】吟行 9:00～11:30、開会式 12:15～、記念講演 12:30～、入賞作品発表、表彰式および講評 14:00～、閉会 16:00

【講演会】演題「俳句はドキュメンタリー」

講師 中村和弘((一社)現代俳句協会会長)

【出演者】※選者：(小中高校生の部)大橋美代子、北川愛子、北川禮子、坂下信子、白根寿子、杉本年虹、鈴木恵子、田崎宏、野田悠美子  
(事前投句の部)坂本宮尾、中坪達哉、仲村青彦、宮田勝、久保純夫、筑紫磐井、対馬康子、中村和弘、岩岡中正、稲畑廣太郎、安田豆作、瀬在光本、中川雅雪、西田さい雪

(当日投句の部)西村和子、森田純一郎、瀬在光本、西田梅女、梅木俊平、小林貴子、小谷延子、高岡幸子、中西石松、堀口紀子、宮口征子、村戸弥生

※文部科学大臣賞受賞作品はP141に掲載

## 主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、七尾市、七尾市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023七尾市実行委員会、公益社団法人俳人協会、一般社団法人現代俳句協会、公益社団法人日本伝統俳句協会、石川県俳句文学協会 ▽特別協力 北國新聞社、一般財団法人石川県芸術文化協会

042

文化団体事業 / 2023ピエンナーレいしかわ秋の芸術祭

## 合唱の祭典 / オーケストラとともに 合唱のちからを信じて ～とどけよう 石川から全国へ～

- 開催日：令和5年10月21日(土)～10月22日(日)
- 開催会場：石川県立音楽堂 コンサートホール

金沢  
エリア

金沢市



## ◆実施状況

「合唱のちからを信じて ～とどけよう 石川から全国へ～」を合言葉に、県内、全国から集まる団体・個人で構成された合唱団が、オーケストラ・アンサンブル金沢と共演するなど、2日間にわたり盛大に開催し、観客を魅了しました。

1日目「合唱の祭典」では、全国から24団体の様々な編成の合唱団の参加があり、華やかな祭典となりました。また、フィナーレは客席も一緒に、「ふるさと」の大合唱を行い、まさに百万石の笑顔となりました。

2日目「オーケストラとともに」では、第1部として石川県合唱連盟加盟団体のコマツHAPPYMELODY、合唱団パーレン・コール、声楽アンサンブルLa Musicaによる演奏を、第2・3部ではキハラ良尚さんの指揮によるオーケストラ・アンサンブル金沢の演奏と、県連加盟団体を核とした県内外からの参加者170名の大合唱で、ヴィヴァルディ作曲「Gloria」と木下牧子作曲「光はここに」を高らかに演奏し、コロナ禍からの合唱文化の復活に客席から大きな拍手をいただきました。

【出演者】

指揮：キハラ良尚

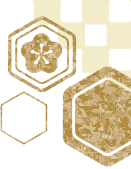
ソリスト：田島茂代(ソプラノ)、仲谷響子(アルト)

管弦楽：オーケストラ・アンサンブル金沢

合唱：「いしかわ百万石文化祭2023」合同特別合唱団

## 主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、一般社団法人全日本合唱連盟、石川県合唱連盟 ▽特別協力 北國新聞社、一般財団法人石川県芸術文化協会



043

文化団体事業 / 2023ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭

## 全国子どもオペラの祭典 モーツァルト オペラ「魔笛」 親子で楽しむ子どものためのオペラ「魔笛」

- 開催日：令和5年10月21日(土)～10月22日(日)
- 開催会場：金沢歌劇座 大ホール及び大集会室

金沢  
エリア

金沢市



## ◆ 実施状況

石川県の子供達と全国公募の合唱団が共演し、プロの指揮者や北陸ゆかりのソリストが出演した、親子で楽しめる本格的オペラ「魔笛」を上演しました。演出・指揮を務めた辻博之さんの「面白さ、美しさ、かっこよさ、高い質」を柱とする現代の子供達の感覚に即した舞台演出に、Seishiroさん振付による3名のダンサーが加わることで、出演者と客席が一体となる感動の舞台となりました。

また、前日には、辻博之さんによるレクチャーコンサートも開催し、「魔笛」の見どころ解説と邦楽器によるオペラ曲の演奏披露などを行いました。

【プログラム】魔笛のハイライト版を、歌はドイツ語と日本語字幕、セリフは日本語で上演  
【出演者】指揮・演出：辻 博之、振付：Seishiro、タミーノ：糸賀修平、パミーナ：石川公美、パパゲーノ：原田勇雅、パパゲーナ：鳥木弥生、夜の女王：矢代あすみ、ダーメ：東園、直江学美、前澤歌穂、ザラストロ：森雅史、モノスタス：近藤洋平、弁者：三戸大久、僧侶&武士：西村朝夫、古村勇樹、クナーベ：子どものための創作オペラ劇場、ダンサー：RUNA、Rin、YUKINA

【出演団体】石川フィルハーモニー交響楽団、石川県合唱協会、福井少年少女合唱団、熊谷少年少女合唱団、大阪新音フロイデ合唱団、金沢邦楽アンサンブル、いしかわ邦楽児童合奏団、金沢児童合唱団

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、石川県音楽文化協会 ▽特別協力 北國新聞社、一般財団法人石川県芸術文化協会

044

文化団体事業 / 2023ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭

## YOSAKOIソーラン日本海全国大会

- 開催日：令和5年10月21日(土)～10月22日(日)
- 開催会場：宝達志水多目的グラウンド特設ステージ

能登  
エリア

宝達志水町



## ◆ 実施状況

「華麗に演舞する祭典 in 宝達志水町」をサブテーマに、全国各地で活動している30のYOSAKOIチーム、総勢1,362名が宝達志水町に集結し、2日間にわたり、各地の文化や歴史をテーマとした躍動感あふれる演舞を披露し、地域や世代の枠を超えた祭の輪を全国に広げました。

ここ宝達志水町では、自分たちの住んでいる町を元気で活力ある地域にしたいという思いで、「第1回のとまつり」がスタートし、「YOSAKOIソーラン日本海」に発展して25年となり、この発祥の地に、県内外から5,000名の方々に訪れていただき、YOSAKOIソーランの魅力を全国に発信することができました。

また、ゲストチームとして、全国区の北海道の「新琴似天舞龍神」総勢48名による圧倒的な演舞に、来場者は魅了され、「また、このような大会を楽しみにしている」という声が寄せられました。

## 【表彰】

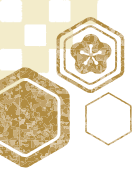
大賞(石川県知事賞) 「粟津おすえ花吹雪」(小松市)

準大賞(宝達志水町長賞) 「泉華菖蒲美人」(加賀市)

準大賞(宝達志水町議会議長賞) 「金沢大学“彩-IRODORI-”」(金沢市)

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、宝達志水町、宝達志水町教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023宝達志水町実行委員会、YOSAKOIソーラン日本海全国大会実行委員会 ▽特別協力 北國新聞社、一般財団法人石川県芸術文化協会



文化団体事業 / 2023ピエンナーレいしかわ秋の芸術祭

# 045 全国吟剣詩舞道祭 吟と舞で綴る加賀・能登にまつわる伝統伝説の舞台

- 開催日：令和5年10月22日(日)
- 開催会場：金沢市文化ホール

金沢  
エリア

金沢市



## ◆実施状況

全国で活躍する吟剣詩舞道家を招き、日本の伝統的な芸道である「吟剣詩舞道」の魅力为全国に向け発信しました。

本祭では、(公財)日本吟剣詩舞振興会の若手吟剣詩舞スーパーチーム11名による、はつらつとした吟詠、剣詩舞「川中島の戦い」で幕を開け、県内12チームによる合吟と群舞の発表に続き、全国吟詠団体11チームによる合吟が披露されました。

さらに、全国剣詩舞団体9チームによる群舞が披露されるなど、各発表を通して参加者相互の交流の場となりました。

その後、式典をはさみ、全国宗家、会長による吟剣詩舞が披露され、武士道の格調を備える剣舞や優美な日本の伝統美を伝える詩舞などの円熟味のある技に客席から感動のため息と大きな拍手をいただきました。

最後は、構成吟剣詩舞「百華の響き」として、「能登」「加賀」そして「金沢」の順で、各地ゆかりの詩歌を吟詠と剣詩舞により紹介しました。

本祭の出演者は、県内、全国各地から合わせて620名の参加があり、年齢層は16歳から87歳まで幅広く、次世代を担う若者から伝統文化を牽引してきたベテランの指導者までが一堂に会し、互いに刺激を受け合うことができ、また、会場には630名が来場され、普段接することのない方にも鑑賞していただくなど、成功裏に終了しました。

**主催** 文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、公益財団法人日本吟剣詩舞振興会、石川県吟剣詩舞道総連盟 ▽特別協力 北國新聞社、一般財団法人石川県芸術文化協会

文化団体事業 / 2023ピエンナーレいしかわ秋の芸術祭

# 046 “日本列島の真ん中・能登半島”文華の粋を詠う in 七尾市 川柳の祭典

- 開催日：令和5年10月22日(日)
- 開催会場：七尾市文化ホール

能登  
エリア

七尾市



## ◆実施状況

全国および海外から広く川柳を募集し、川柳愛好家が集い交流や研鑽を図りながら、創作を競う「川柳の祭典」を開催しました。

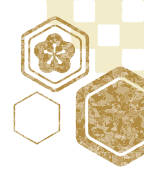
5月1日～7月31日まで募集した事前投句では、「祭り」「スイーツ」「兼ねる」「先端」をお題に、1,388名から10,812句を、また、大会当日の投句では、「地味」「プラス」「七」をお題に、301名から1,806句を、それぞれ投句いただき、文部科学大臣賞などの入選・入賞作品の表彰式を行いました。

開会式直後には古くから船方(船乗り)の祝儀唄として漁港を中心に伝えられた「七尾まだら」、赤倉神社(七尾市三引町)の春と秋の祭礼で演じられる「三引の獅子舞」を披露し、大会開催に華を添えました。

- 【プログラム】当日投句 9:30～11:00、開会式および清興 12:00～、  
披露・選評 13:50～、結果発表 15:30～、表彰式 15:50～
- 【出演者】※選者(事前投句の部)梅崎流青、佐藤清泉、大島凧子、岡本聡  
(当日投句の部)濱山哲也、大竹洋、片岡加代  
(第二次選者)雫石隆子、島田駱舟、大楠紀子、黒川孤遊

※文部科学大臣賞受賞作品はP141に掲載

**主催** 文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、七尾市、七尾市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023七尾市実行委員会、一般社団法人全日本川柳協会、石川県川柳協会 ▽特別協力 北國新聞社、一般財団法人石川県芸術文化協会



文化団体事業 / 2023ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭

# 047 吹奏楽の祭典 ~来まっし、吹きまっし、いんぎらーとしまっし、いしかわ百万石吹奏楽絵巻~

●開催日：令和5年11月4日(土)  
●開催会場：金沢歌劇座 大ホール

金沢 エリア  
金沢市



### ◆実施状況

アマチュア団体とプロの吹奏楽団による、2部構成の豪華な吹奏楽絵巻を披露しました。

主催の村山卓金沢市長の挨拶で幕を開けた第1部では、全国トップクラスの実力を持つ、中学から一般までの一般公募団体7団体が、オリジナルからポップスまで多彩な演奏を繰り広げました。

第2部では、日本屈指のプロ吹奏楽団である東京佼成ウインドオーケストラの特別演奏会を行い、国内最高峰の演奏が満員の観衆を魅了しました。

#### 【プログラム】

第1部 一般公募団体による演奏

【出演団体】石川県立金沢桜丘高等学校吹奏楽部(石川県)、百萬石ウインドオーケストラ(石川県)、広島シンフォニック・ファミリア吹奏楽団(広島県)、浜松市中学生吹奏楽団(静岡県)、箕面自由学園高等学校吹奏楽部(大阪府)、愛知工業大学名電高等学校(愛知県)、東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部(東京都)

第2部 東京佼成ウインドオーケストラ特別公演

【出演団体】指揮 横山奏  
演奏 東京佼成ウインドオーケストラ

主催 文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、石川県吹奏楽連盟 ▽特別協力 北國新聞社、一般財団法人石川県芸術文化協会

文化団体事業 / 2023ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭

# 048 小倉百人一首競技かるた全国大会

●開催日：令和5年11月4日(土)～11月5日(日)  
●開催会場：小松総合体育館

加賀 エリア  
小松市



### ◆実施状況

藤原定家を選んだ和歌百首の上の句を聞いて、下の句を書かれた札を相手より早く取り合う競技かるたを、5名1組の都道府県対抗の団体戦形式により、2日間にわたり実施しました。

1チーム最大7名が参加でき、本大会では、45都道府県300名により、熱戦が繰り広げられ、中には、現名人をはじめ元名人・クイーンの経験者も多数参加して華麗な技で競い合いました。

また、参加者は和装での出場が定められており、華やかな中にもチームの勝敗を懸けて札を取り合う一瞬の緊張感が会場に漂い、見学者もその空気を感じておりました。

初日は3～4チームを1組とした12組による予選リーグ、2日目は予選リーグの上位16チームによる決勝トーナメントにより優勝を争いました。石川県チームは僅差で決勝トーナメントに進むことができませんでした。

また、石川県内の高校生にボランティアで大会運営に参加していただいたほか、会場でも多くの若者がレベルの高い戦いを観戦しており、将来この大会で活躍することを期待します。

準決勝・決勝はそれぞれ3勝2敗の僅差の試合が続きましたが、優勝は東京都が選手層の厚さで2連覇を達成しました。

#### 【表彰】

優勝：東京都、準優勝：愛知県、第三位：京都府、第四位：福岡県

主催 文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、小松市、小松市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023小松市実行委員会、一般社団法人全日本かるたの協会、石川県かるたの協会 ▽特別協力 北國新聞社、一般財団法人石川県芸術文化協会

文化団体事業 / 2023ピエンナーレいしかわ秋の芸術祭

049

## アジア囲碁の祭典 アマ囲碁アジア交流in金沢 / 全日本視覚障害者囲碁大会 手談in金沢

- 開催日：令和5年11月11日(土)～11月12日(日)
- 開催会場：KKRホテル金沢

金沢  
エリア

金沢市



## ◆実施状況

アジアから、金沢市の姉妹都市である韓国・全州市のほか、台湾・台北市や全国の囲碁愛好家 136 名が集い、2日間にわたり、国内外の 12 チームによる団体戦などが繰り広げられ、子どもから大人まで、国籍や障害、言語を超えて、囲碁の腕を競い親睦を図りました。

この中で、「公開対局」では、女流棋士 (NHK 杯囲碁トーナメント聞き手) と強豪中学生 (現ジュニア本因坊タイトル保持者) の対局がプロ棋士により大盤解説され、参加者の多くがレベルの高い真剣勝負に魅了されていたほか、囲碁入門アプリに登場するプロ棋士に参加いただいた「入門教室」も大いに盛り上がり、子どもを含む約 70 名の方々に囲碁を体験していただきました。

同時開催の「全日本視覚障害者囲碁大会」では、全盲や弱視の方 16 名が囲碁の腕を競い親睦を深めたほか、視覚障害者用の囲碁盤「アイゴ」を使用したデモンストレーションが行われ、多くの方々に体験いただくなど、多方面から囲碁文化の魅力に触れ楽しむことができる貴重な機会となりました。

## 【プログラム】

- 1日目 アジア囲碁団体戦 (1, 2 回戦)、星合志保三段挑戦者決定戦
  - 2日目 アジア囲碁団体戦 (3, 4 回戦)、親睦囲碁大会 (個人戦、フリー対局)、指導碁、入門教室、公開対局、星合志保三段 vs 挑戦者、表彰式
- ※文部科学大臣賞受賞者はP144を参照

## 主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、日本棋院支部石川県連合会、社会福祉法人日本点字図書館、一般社団法人日本視覚障害者囲碁協会 ▽特別協力 北國新聞社、一般財団法人石川県芸術文化協会

050

文化団体事業 / 2023ピエンナーレいしかわ秋の芸術祭

## 将棋フェスティバル IN 野々市

- 開催日：令和5年11月11日(土)～11月12日(日)
- 開催会場：野々市市文化会館フォルテ

加賀  
エリア

野々市市



## ◆実施状況

県内外から2日間で約 700 名が参加し、個人戦 5 クラス (一般 A 級・一般 B 級・シニア級・中学生以下 A・中学生以下 B) と団体戦 (16 チーム) と一般 A 級優勝者と北陸 3 県の代表者、全国から 4 名の招待選手によるアマチュア選抜大会を実施しました。

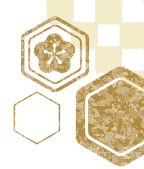
また、プロ棋士の木村一基九段・豊川孝弘七段・都成竜馬七段・室田伊緒女流二段 (富山県砺波市生まれ)・井道千尋女流二段 (石川県珠洲市出身) をお招きした指導対局や公開対局、トークショーを行ったほか、プロ棋士の揮毫が当たるお楽しみ抽選会も実施しました。

さらに、将棋の魅力を発信するため、プロ棋士による駒の動かし方から教えてもらえる初心者講座や級位者から有段者に向けてのパワーアップ講座を行ったほか、石川県にて開催されたタイトル戦で使用された盤駒や封じ手、揮毫などの展示も実施しました。

このほか、将棋駒師 (山形県天童市) による実演と展示や販売コーナーのほか、藤井聡太八冠などの将棋グッズ販売、キッチンカーの出店もあり、2日間にわたり、全国の将棋愛好家が世代や地域を超えて交流を深めることができました。

## 主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、野々市市、野々市市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023野々市市実行委員会、公益財団法人日本将棋連盟、日本将棋連盟石川県支部連合会 ▽特別協力 北國新聞社、一般財団法人石川県芸術文化協会



文化団体事業 / 2023ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭

# 051 いしかわ百万石「里山里海」民謡の祭典

● 開催日：令和5年11月12日(日)  
● 開催会場：津幡町文化会館「シグナス」大ホール

能登エリア  
津幡町



### ◆ 実施状況

【第1部】「いしかわの里山・里海民謡の輪」では、石川県無形民俗文化財指定の正調七尾まだらにて華やかに開幕し、県民謡協会全26団体による石川で受け継がれて来た民謡を中心に、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮されました。

【第2部】「未来につなぐ若人の輪」では、県内で活動する有望な次世代継承者である若者が、躍動した唄・三味線・踊りを披露し会場に彩りをそえました。

【第3部】「百万石に集う人の輪」では、県内団体と全国で活躍する6団体・3個人が出演し、それぞれの故郷で受け継がれてきた魅力あふれる民謡民舞が披露され、石川と全国各地の民謡民舞の聞き比べ、見比べも楽しみました。

【第4部】「民謡文化かがやきの輪」では県内外で活躍するプロ民謡歌手による華やかなステージが繰り広げられ、最後は百万石音頭で締めくり、民謡文化を心ゆくまで堪能する一日となりました。

【出演団体】石川県民謡協会26団体、全国公募の6団体  
【出演個人】県内5名、県外3名  
【特別ゲスト】中村仁美・中村優美・中村澁己  
【県内ゲスト】加賀山昭・加賀山紋、一川明宏  
吉田香央里・吉田菜央美

**主催** 文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、津幡町、津幡町教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023津幡町実行委員会、石川県民謡協会 ▽特別協力 北國新聞社、一般財団法人石川県芸術文化協会

文化団体事業 / 2023ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭

# 052 いしかわ洋舞フェスティバル2023 洋舞@邦楽ホール 和ヲツナグ～おどるわ・いしかわ・かなざわ～

● 開催日：令和5年11月18日(土)～11月19日(日)  
● 開催会場：石川県立音楽堂 邦楽ホール

金沢エリア  
金沢市



### ◆ 実施状況

2日間にわたり、全国レベルのモダンバレエ、コンテンポラリーダンスの鑑賞と舞踊家の交流を実施しました。

2日間で297名(うち県外169名、ゲスト、演奏者含む)が出演し、箏曲にアレンジしたハワイアンフラや加賀宝生能囃子とのコラボレーション、全国の舞踊団との交流ステージに加え、全国の舞踊家による合同作品の新作を披露するなど、未来へ踊り継ぐことを表現するとともに、洋舞の魅力を発信しました(入場者数984名)。

【プログラム】

1部 オープニングコラボ  
18日 洋舞とフラ、箏、尺八  
19日 洋舞と能管、太鼓

2部 交流ステージ 石川2団体と県外5団体の作品披露  
18日県外 茨城、愛知、大阪、宮城、東京  
19日県外 広島、秋田、新潟、北海道、福井

3部 金沢の婚礼の風習「日月山海里」をテーマにゲストを含む県内外113名による合同作品を初演  
振付／武元賀寿子(七尾市出身)

**主催** 文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、日本洋舞連合J.I.D.U. ▽特別協力 北國新聞社、一般財団法人石川県芸術文化協会

053

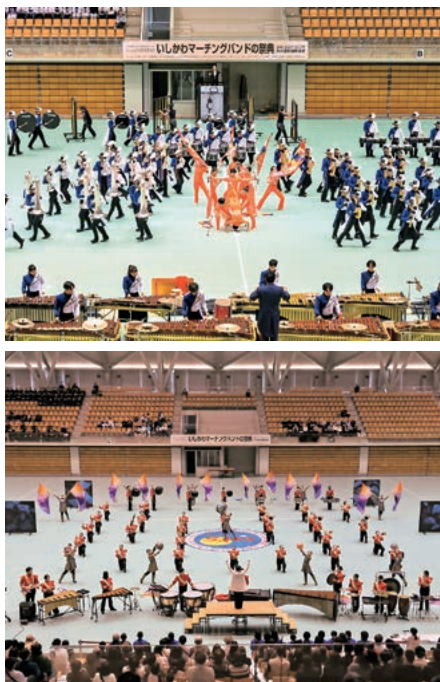
文化団体事業 / 2023ピエナーレいしかわ秋の芸術祭

## いしかわマーチングバンドの祭典 時代と世代とジャンルを超えて聴かせる・魅せる

- 開催日：令和5年11月19日(日)
- 開催会場：いしかわ総合スポーツセンター メインアリーナ

金沢  
エリア

金沢市



## ◆実施状況

幼児から一般まで幅広い年齢層からなる27団体(県内10団体(うちゲスト2団体)、県外17団体(14府県))が参加した本祭典では、全国の参加者が多彩なスタイルでの演奏演技の披露に刺激を受け合いながら、力強い音楽とキレのよい動きを繰り広げ、会場を魅了しました。

音楽とスポーツ、舞台芸術が融合をした「総合芸術」であるマーチングバンドを通じて、全国の来場者との交流を持ちながら、その魅力を県内外に広く発信しました。

## 【出演団体】

専修大学北上高等学校、茨城県立大洗高等学校、作新学院高等学校、明照学園樹徳高等学校、高崎商科大学附属高等学校、千葉敬愛高等学校、奥田ジュニア、遊学館高等学校、金沢市立泉野小学校、金沢市立米泉小学校、小松市立矢田野小学校、こぼと保育園、清和保育園、あおば保育園、Bloom、仁愛女子高等学校、上田西高等学校、岐阜県立岐阜商業高等学校、ひまわり幼稚園、愛知産業大学工業高等学校、NARAGAKU Marching Band、明浄学院高等学校、山陽女学園高等部、山陽女学園カラーガード部、Tokushima Indigoes Drum & Bugle Corps、(ゲスト2団体) 遊学館高等学校バントワリング部、石川県合同パトチーム

## 主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、一般社団法人日本マーチングバンド協会、石川県マーチングバンド協会 ▽特別協力 北國新聞社、一般財団法人石川県芸術文化協会

054

文化団体事業 / 2023ピエナーレいしかわ秋の芸術祭

## 短歌大会 ～ようこそ、かほくの哲学の道へ～

- 開催日：令和5年11月19日(日)
- 開催会場：石川県西田幾多郎記念哲学館 哲学ホール

能登  
エリア

かほく市



## ◆実施状況

全国の短歌愛好者から短歌作品を募り、一般の部1,640首、小学生・中学生・高校生の部(以下「学生の部」という。)9,286首、計10,926首の作品の中から選ばれた入賞者の表彰と作品の講評などを行いました。最高賞の文部科学大臣賞は、一般の部では山本明さん(千葉県)の「百万の蔵書かかえる図書館のその一冊の一行と会う」が、学生の部では、本県七尾市立和倉小学校6年の松柳蓮さんの「バチもってちからいっばいたたく時ひびきたるよ輪島和太鼓」がそれぞれ選ばれました。

また、永田和宏さん(歌人、細胞生物学者)を講師にお迎えし、「西田幾多郎と河上肇 二人の学者歌人」と題した講演会を実施しました。西田幾多郎の寄稿文「短歌について」には「人生には唯、短詩の形式によってのみ掴み得る人生の意義というものがある」と書かれており、西田哲学のキーワードである「純粹経験」とも深く関連していると語られたほか、恩師の一人でもある湯川秀樹の短歌についても語られました。

## 【表彰】(文部科学大臣賞)

## 一般の部

山本明(千葉県) 「百万の蔵書かかえる図書館のその一冊の一行と会う」

## 学生の部

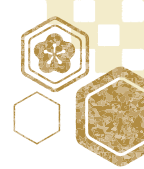
松柳蓮(七尾市立和倉小学校6年)

「バチもってちからいっばいたたく時ひびきたるよ輪島和太鼓」

## 主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、かほく市、かほく市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023かほく市実行委員会、現代歌人協会、日本歌人クラブ、石川県歌人協会 ▽特別協力 北國新聞社、一般財団法人石川県芸術文化協会





金沢  
エリア

金沢市

055

文化団体事業 / 2023ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭

## 日本舞踊の祭典 in Ishikawa いしかわ百万石の舞 ~百花繚乱~

- 開催日：令和5年11月23日(木・祝)
- 開催会場：石川県立音楽堂 邦楽ホール



### ◆ 実施状況

県内外の日本舞踊家の舞台や伝統芸能を学ぶ子ども達の舞台、さらに、北陸舞踊協会(藤間、藤蔭、若柳の3流派)による創作舞踊などが披露され、流派や世代を超えた舞踊家たちの競演により、華やかな舞台となりました。

また、多くの子ども達の参加により、日本舞踊の魅力を次世代につなぐ機会にもなりました。

#### 【プログラム】

第1部「未来につなげ」は、子ども達の舞を披露する舞台とし、演奏にも子ども達が入る演目は、本県初の取組でした。

第2部「いしかわ百万石の舞~百花繚乱~」では、長唄、常磐津、大和楽の様々な演目を県内外の舞踊家が演じ、豪華絢爛な舞台を展開しました。

第3部は、「いしかわ百万石文化祭 2023」の開催を記念に、石川県ゆかりの歌人「長沢美津」の歌集をもとに、美しい「兼六園」の四季を表現した創作舞踊を発表しました。

【出演団体】 計12団体85人

(公社)日本舞踊協会千葉県・埼玉県・秋田県・青森県の各支部、若柳流同志会邑佑の会、正派若柳流若寿会、花柳流初音会、宗家藤蔭流藤蔭会、西川流家元本部、紫派藤間流双樹会、いしかわ子ども邦楽アンサンブル、北陸舞踊協会

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、北陸舞踊協会 □特別協力 北國新聞社、一般財団法人石川県芸術文化協会

金沢  
エリア

金沢市

056

文化団体事業 / 2023ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭

## 輝く★ピアノの祭典 世界へ羽ばたいていく若手ピアニストとともに

- 開催日：令和5年11月25日(土)~11月26日(日)
- 開催会場：金沢市アートホール



### ◆ 実施状況

世界に飛び出した今を輝く若手ピアニストたちと、これから未来に輝くピアニスト(小学生)たちが共演するイベントを2日間にわたり開催しました。

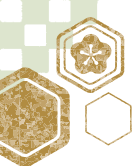
1日目には、全国の小学生を対象とした公開オーディションを行い、定員を超える33名が参加しましたが、子ども達の演奏レベルが高く、合格者を予定していた9名に絞り込むことが難しく、16名に増やし、翌日のステージに送り出すこととなりました。

2日目は、そのオーディション合格者と日本海側唯一の国際ピアノコンクールである「いしかわ国際ピアノコンクール」から世界へ羽ばたいた若手ピアニストによるガラコンサートを開催しました。3部構成で、それぞれの部に、2名の若手ピアニストに対し、合格した小学生数名が共演するステージを繰り広げ、出演した小学生は、若手ピアニストと同じステージに立つことで、ピアノを演奏する楽しさとこれから世界へ挑戦していく意識を感じることができました。

最後に、第18回シヤン国際ピアノコンクールで第2次予選に進出した沢田蒼梧さんをゲストに迎えたスペシャルコンサートを開催し、国民文化祭にふさわしいプログラムで締めくくりました。

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、石川県ピアノ協会 □特別協力 北國新聞社、一般財団法人石川県芸術文化協会



地域文化発信事業 泉鏡花記念館特別展「再現! 番町の家」/シンポジウム「再現! 番町の家」/三文豪映画祭スペシャル! 活動弁士による「瀧の白糸」上映

057

## 鏡花生誕150年記念事業 泉鏡花記念館特別展

- 開催日：令和5年10月1日(日)～11月26日(日)/11月4日(土)/10月15日(日)～10月16日(月)
- 開催会場：泉鏡花記念館/金沢市アートホール/シネモンド

金沢  
エリア

金沢市



## ◆実施状況

金沢出身の作家泉鏡花生誕150年を記念して、戦火で焼失した鏡花の終の棲家の内部構造を検証し、書斎を中心に遺品を公開する特別展「再現! 番町の家」と、専門家4名が登壇して研究成果などを報告するシンポジウム「再現! 番町の家」を開催しました。

特別展には、3,683名が来場したほか、シンポジウムには80名が参加するなど、県内外から多くの注目を集めました。

また、作家の生活と創作の拠点である「家」をテーマとしたことで、文学にとどまらず、歴史やアートなど様々な研究分野からのアプローチが可能となることや、専門家のみならず一般の方にもアクセス可能な開かれた研究となることを発信し、好評を博しました。

そのほか、「三文豪映画祭スペシャル」として、鏡花の出世作『義血侠血』を原作とする無声映画『瀧の白糸』を上映し、10月15日と16日の2日間で109名の来場者がありました。活動弁士として第一線で活躍する澤登翠さんによる軽妙な語り口と的確な情景描写が堪能でき、アンケートでは、同様のイベントの定期的な開催を希望する声もありました。

## 【シンポジウム登壇者】

吉田昌志(昭和女子大学教授)、本間友(慶應義塾ミュージアム・commons専任講師)、倉持隆(慶應義塾大学三田メディアセンター課長)、細野美希(金沢湯涌江戸村技師)、穴倉玉日(泉鏡花記念館学芸員)

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、泉鏡花記念館、公益財団法人金沢文化振興財団

058

地域文化発信事業

## 中村記念美術館特別展

- 開催日：令和5年10月7日(土)～12月3日(日)
- 開催会場：中村記念美術館、旧中村邸(金沢市指定保存建造物)

金沢  
エリア

金沢市



## ◆実施状況

金沢市内に残る大学等や個人の所蔵となっている隠れた名品を一堂に会し、館所蔵の茶道具と伝統工芸の作品とともに展示する特別展「金沢の美意識～金沢ゆかりの名品～」展を開催し、兼六園周辺文化の森エリア内の回遊性を高め、多くの方が金沢の文化の魅力に触れる機会を創出しました。

会場には重要文化財7点をはじめ重要美術品や石川県指定文化財、金沢市指定文化財など75点の貴重な作品を展示し、5,200名を超える方々が金沢のまちが受け継いできた文化の深さを堪能しました。

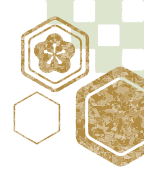
また、美術館向かいの旧中村邸では、8日間の期間限定で邸内に掛軸、屏風、花入等の所蔵品を特別に展示公開し、1,056名の方々が訪れました。邸内の様子を動画公開することで今も市民生活に根付いている茶道文化と金沢町家の魅力を、特別展との相乗効果により国内外に広く発信しました。

## 【旧中村邸】

昭和3年に酒造業中村家の住宅として建築された建物で、現在地に移築・改装した後、同41年から平成元年まで中村記念美術館として使用され、新館(現美術館棟)開館後に再度改装し、旧家のたたずまいを今に伝える金沢市指定保存建造物として、年間を通して多くの方に、茶会をはじめ様々な催しに利用されています。

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、金沢市立中村記念美術館、公益財団法人金沢文化振興財団



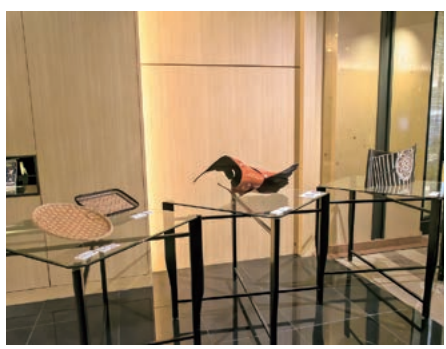
金沢  
エリア

金沢市

059

## 地域文化発信事業／2023ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭連携事業 都心軸 KOGEI プロムナード

- 開催日：令和5年10月14日(土)～11月26日(日)
- 開催会場：金沢市内ホテル8カ所



### ◆ 実施状況

金沢の工芸の魅力を国内外に発信するため、まちなかのホテル8カ所（ハイアットセントリック金沢、ホテル金沢、ANAクラウンプラザホテル金沢、ホテル日航金沢、ANAホリデイ・イン金沢スカイ、金沢ニューグランドホテル、金沢東急ホテル、金沢国際ホテル）と連携し、金沢市工芸協会の若手会員20名による作品展示を行いました。

陶芸、金工、染色、漆芸、木竹工といった多彩な金沢の工芸品31点が、各ホテルのロビーやエントランスなどを華やかに彩り、国内外からの観光客や市民の方々をお迎えました。

展示会場となったホテルからは「フロントに展示したところ、目に留まるインパクトのある作品だったため、海外の観光客をはじめとする、ゲストの皆様大変楽しんでいただきました」との声や「作品を展示したフロアがこれまで以上に華やかになり、お客様からも嬉しいお声かけが数多くありました」などの感想も寄せられ、まちなかに設置されたギャラリーを巡りながら、金沢の工芸の奥深さや若手作家の力強い作品を楽しんでいただける機会となりました。

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、金沢市工芸協会

金沢  
エリア

金沢市

060

## 地域文化発信事業 映像作品 Rhizomatiks「Kanazawa Radiance View」／展覧会 「チョコレート 至高の名を与えられしもの」

- 開催日：令和5年10月14日(土)～11月26日(日) / 10月28日(土)～11月3日(金・祝)
- 開催会場：金沢21世紀美術館 エントランス／市民ギャラリーA



### ◆ 実施状況

#### 【映像作品 Rhizomatiks「Kanazawa Radiance View」】

クリエイティブチームであるRhizomatiks(ライゾマティクス)による新作映像作品を美術館のエントランスに横幅7mのLEDモニターに設置し、最新のデジタル技術を使用し、金沢の街の細部や風景の新旧を、未来都市の新しいヴィジョンとして表現しました。

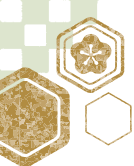
兼六園をはじめ、さまざまな金沢の名所を立体的に撮影したデータを、最先端の映像処理技術を用いて新たな映像に昇華させました。また、真鍋大度さんとNosaj Thingさんによるオリジナルの音楽が映像と融合することで、まだ見ぬ表現を織り成しました。

#### 【展覧会「チョコレート 至高の名を与えられしもの」】

世界中の人々に愛されるチョコレートにまつわる工芸作品の展示や手話通訳付きのギャラリーツアー、映画上映会等を通して、「ショコラの街・金沢」としての魅力を紹介しました。チョコレートを素材に独自の技術で造形に取り組む、ステファン・ルルーさんの作品も金沢にて初公開しました。世界各地で開催される講習会を通して、自分の経験をプロフェッショナルに伝えることに熱心に取り組む、技術の継承に尽力しているルルーさんのアーティスト・トークも開催し、伝統工芸の盛んな石川・金沢にふさわしく、職人技の精神を語るプレゼンテーションは、多くの聴衆を魅了しました。

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、金沢21世紀美術館(公益財団法人金沢芸術創造財団)



地域文化発信事業

061

## いしかわ百万石文化祭2023 記念 長土塀「絆」文化祭

- 開催日：令和5年10月15日(日)
- 開催会場：長土塀青少年交流センター、金沢市営中央市民体育館

金沢  
エリア

金沢市



## ◆実施状況

子どもから高齢者まで幅広い世代が交流し、楽しみながら多様な文化に触れることができるイベントとワークショップを開催しました。

ステージでは、金沢の伝統的な民謡舞踊や躍動感のある和太鼓の公演を行い、その後、子ども向けの和太鼓のワークショップを実施し、参加者からは、「初めての体験で楽しかった。また挑戦したい。」などの感想が寄せられました。

このほか、生け花と水引細工でアクセサリを製作する水引づくりワークショップも親子連れなどで賑わい、さらに、会場では和傘や生け花、能面の展示に加え、和傘の製作実演や加賀宝生能の上映クイズコーナーも行い、伝統文化の技と心を観て、触れて体験し、身近に感じてもらうことができました。

また、この催しでは、ニュースポーツや工作の体験コーナーもあり、様々な世代間で交流の輪が広がっていました。

## 【プログラム】

和太鼓公演、民謡舞踊公演、和傘製作実演、生け花展示、加賀宝生能上映・クイズ、和太鼓ワークショップ、民謡舞踊ワークショップ、生け花ワークショップ、水引づくりワークショップ

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、金沢市青少年団体連絡協議会

地域文化発信事業

062

## 前田土佐守家資料館歴史散歩～尾山神社、金沢城公園を巡る～

- 開催日：令和5年10月18日(水)、10月25日(水)
- 開催会場：前田土佐守家資料館、尾山神社、金沢城公園

金沢  
エリア

金沢市



## ◆実施状況

令和5年10月18日と25日の2回、約2時間の行程で開催しました。

最初に、加賀藩祖前田利家とその夫人につながる加賀藩の重臣前田土佐守家伝来の資料を主要コレクションとする歴史博物館前田土佐守家資料館の企画展「尾山神社と前田土佐守家」を見学し、前田土佐守家当主が尾山神社設立に深く関わったことへの理解を深め、尾山神社へ向かいました。

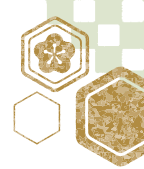
尾山神社までは、江戸時代の絵図（前田土佐守家資料館所蔵品販売用レプリカ）を見ながら道筋をたどり、引率した学芸員が、近世および近代の金沢の面影が残る所々について解説を行いました。

そして、尾山神社では普段非公開の神門2、3階部分の見学と尾山神社職員による解説を行い、最後は、尾山神社をぬけて鼠多門を通り、金沢城公園で解散し、「加賀百万石回遊ルート」(の一部)を実踏しました。

藩政期の面影が残る道筋を藩政期の絵図をみながらたどる歴史散歩となかなか見ることのできない尾山神社神門の見学・案内は参加者から大変好評であり、藩政期から現在に至る金沢の歴史への理解が深まるとともにその魅力の発信にもつながりました。

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、前田土佐守家資料館、公益財団法人金沢文化振興財団



金沢  
エリア

金沢市

063

地域文化発信事業

# KOGEIフェスタ!

- 開催日：令和5年10月21日(土)～10月22日(日)
- 開催会場：石川県政記念しいのき迎賓館、しいのき緑地など



## ◆ 実施状況

市民及び来街者が、金沢の魅力である工芸を見て、触れて、体験する機会を創出し、「工芸のまち・金沢」の魅力を発信するフェスタを開催しました。

作り手等から直接指導を受けながら、工芸制作を体験できる「KOGEI 体験」は金沢九谷のろくろ体験や、金箔の小皿制作など12種類を実施しました。また、若い作り手等の感性を活かした工芸品を販売する「KOGEI マルシェ」には、金沢美術工芸大学や金沢卯辰山工芸工房を含む60者が参加しました。

工芸を通して文化を楽しむ「KOGEI カルチャー」では、加賀友禅作家によって絵付けされたお茶碗を使用した茶会や、工芸品とお花のコラボレーションの鑑賞のほか、金沢素囃子の演奏会や三弦・琴の展示など、和楽器に親しむ体験も行いました。

また、食文化やクラフト&フォークアートの分野でユネスコ創造都市として認定されている山形県鶴岡市、大分県臼杵市、兵庫県丹波篠山市と連携し、伝統菓子や工芸品づくりの交流体験を5種類実施しました。

そのほか、「KOGEI 修復コンシェルジュ」では、地元工芸職人による工芸品の修復相談窓口を開設し、来場者に対して工芸品のリユースの提案なども行いました。

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023 実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023 金沢市実行委員会、一般社団法人金沢クラフトビジネス創造機構、金沢創造都市推進委員会

金沢  
エリア

金沢市

064

地域文化発信事業

# 金沢食文化フェスタ

- 開催日：令和5年10月21日(土)～10月22日(日)
- 開催会場：石川県政記念しいのき迎賓館、しいのき緑地、金沢21世紀美術館 シアター21、金沢未来のまち創造館



## ◆ 実施状況

料亭文化や加賀野菜、和菓子など、金沢では、藩政時代から多様な食文化が育まれ、受け継がれてきました。こうした様々な面を持つ金沢の食文化を紹介し、その魅力を再認識してもらうため、五感で楽しめるフェスタを開催しました。同時開催の「KOGEI フェスタ!」との相乗効果で、多くの方々が来場し、飲食ブースでの旬の食材を使った料理や、発酵食や和菓子などのワークショップを通じて、幅広い世代に金沢の食文化の魅力を発信することができました。

また、2023年は「金沢食文化振興条例」制定から10年の節目の年であり、金沢の稀有な食文化の魅力をさらに磨き高めるため、次の記念事業を開催しました。

### 【「未来を彩る食文化都市・金沢を語る」フォーラム】

食にまつわる高名な識者をお招きし、様々な視点から、金沢の食文化の本質について語っていただき、参加者にその魅力を再認識していただいたほか、金沢の食文化の可能性は大きく、ブランド化できるといった提案もいただきました。

### 【高校生調理交流会】

和食に関心を持つ高校生に対する金沢の料理人による調理技術の公開指導や学生同士の交流を行いました。観覧者には、調理科への進学を考えている中学生もおり、全日本高校生 WASHOKU グランプリ決勝大会へ出場した高校生から話を聞くなど、未来の料理人に繋がる取り組みを推し進めることができました。

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023 実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023 金沢市実行委員会

地域文化発信事業

065

## 建築家谷口吉郎・吉生親子の作品を巡るプレミアムツアー

●開催日：令和5年10月23日(月)

●開催会場：卯辰山(徳田秋聲文学碑)、金沢市西町教育研修館、石川県立伝統産業工芸館、鈴木大拙館、谷口吉郎・吉生記念金沢建築館、金沢市立玉川図書館

金沢  
エリア

金沢市



## ◆実施状況

近世から現代までの多様な建築が見せる重層的な金沢の建築文化の中で、都市の文脈に調和した建築家谷口吉郎・吉生親子の建築の魅力を理解するとともに広く建築文化について考える機会となるプレミアムツアーを実施しました。

参加応募90名の中から抽選で当選した20名の参加者は、谷口親子の作品を貸切りバスで巡り、現地で学芸員による詳細な作品解説を受けました。

参加者には、今回のツアーを通して谷口建築の魅力を体感するとともに金沢の建築文化に対する理解も大いに深める機会になったと大好評でした。

## 【ツアー内容】

最初に、吉郎の徳田秋聲文学碑を訪れ、日本の文学碑第1号と称される周辺環境を含めた造形を学び、次に吉郎の金沢市西町教育研修館、石川県伝統産業工芸館を訪れ、金沢の風土に対する建築の意匠美に理解を深めました。

その後の吉生さんの鈴木大拙館では、ゆったりとした思索空間や豊かな緑や水鏡の庭など周辺環境と調和した静寂な環境を堪能し、最後の谷口吉郎・吉生記念金沢建築館では、迎賓館赤坂離宮和風別館游心亭の広間・茶室を再現した常設展示で、谷口親子の建築作品が共演する建築空間を興味深く体験しました。

## 主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、谷口吉郎・吉生記念金沢建築館、鈴木大拙館、公益財団法人金沢文化復興財団

地域文化発信事業

066

## 金沢の無形民俗文化財共演会

●開催日：令和5年10月28日(土)、11月18日(土)

●開催会場：金沢歌劇座大ホール(10月28日)、金沢駅東広場(11月18日)

金沢  
エリア

金沢市



## ◆実施状況

金沢の各地域に受け継がれてきた無形の民俗文化財を一堂に会した共演会を2日間に分けて実施しました。

10月28日の金沢歌劇座では、それぞれの個性あふれる団体の特徴を表すアーカイブ映像とともに、14団体による演技が披露され、11月18日の金沢駅東広場では、8団体による伝承芸能の演技のほか、獅子舞の蚊帳の中に入ったり、奴の化粧を施す様子を間近で見学し、衣装や用具を実際に装着して、踊りや所作を体験したりするワークショップを開催しました。これら伝承芸能の演技やワークショップを通じて、地域固有の文化である無形民俗文化財を理解し、未来へ受け継いでいく意識が高まるなど、アイデンティティーの醸成を図ることができました。

## 【出演団体】

令和5年10月28日(土) 金沢歌劇座大ホール…計14団体

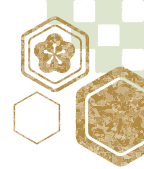
二俣いやさか踊り保存会、加賀とびはしご登り保存会、松寺町獅子舞保存会、八田さかたおどり保存会、加賀万歳保存会、上野町餅つき踊り保存会、南無とせ節保存会、湯涌念仏踊り保存会、東蚊爪奴奴保存会、富樫伏見台しんこう踊り保存会、金石民謡保存会、加賀豊年太鼓沖町保存会、栗崎伝承踊り保存会、三谷文化財保護協議会

令和5年11月18日(土) 金沢駅東広場…計8団体

長田坤龍獅子保存会、加賀とびはしご登り保存会、田んぼ染め保存会、八田さかたおどり保存会、加賀万歳保存会、南無とせ節保存会、長田権作節保存会、栗崎奴保存会

## 主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会



地域文化発信事業

# 067 アウトサイダー・アート作品展 in いしかわ百万石文化祭 2023

● 開催日：令和5年10月31日(火)～11月5日(日)  
● 開催会場：金沢21世紀美術館 市民ギャラリーB

金沢エリア  
金沢市



## ◆ 実施状況

「アウトサイダー・アート」とは、正規の美術教育を受けていない方が何物にもとらわれずに自分の感性だけで創作された美術のことであり、優れた芸術的才能を持つ知的障害や精神障害のある人の作品に触れ、アウトサイダー・アートへの関心と理解を深めていただく展覧会を開催しました。

16回目となる今回の作品展では、従来の作品展示に加えて、いしかわ百万石文化祭 2023 にふさわしく、ファッションデザインへと昇華したアート作品を展示し、アウトサイダー・アートの新たな魅力と可能性を引き出しました。このほか、企業とのコラボ企画の紹介や、作品をイメージしたコスチューム等の撮影会ワークショップを実施しました。

また、学生ボランティアの協力も得て実施した撮影会形式のワークショップでは、作品をモチーフにしたコスチュームや小物などを来場者が自由に身に付けることができ、好評を博しました。

## 主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭 2023 実行委員会、いしかわ百万石文化祭 2023 金沢市実行委員会、金沢アート工房

地域文化発信事業

# 068 金沢ナイトミュージアム・エクスペリメント

● 開催日：令和5年11月2日(木)～11月25日(土)  
● 開催会場：金沢市民芸術村、金沢アートプラザ、箔一ビル

金沢エリア  
金沢市



## ◆ 実施状況

金沢市民芸術村アクションプランと協働しながら、例年の金沢ナイトミュージアムより会期を延長し、内容・規模ともバージョンアップした特別編（エクスペリメント）を開催しました。

### 【展示力合宿 in かなざわ全国美大生 meeting】

金沢市民芸術村を拠点とし、全国から美大生有志が集まり、市内のギャラリーや空きビルにも展示を展開し、ディスカッションや作品の移動・作業を含めてその様子を公開しました。

### 【百万石演劇大合戦&北陸ダンスフェスティバルDX】

演劇とダンスという2つのジャンルにわたり公募で全国と地域から選ばれたカンパニーが競い合い、観客投票による決勝戦での優勝者選抜やキックバック応援チケットを採用するなど、客席も一体となった大きな盛り上がりを見せました。

### 【音のざわざわ】

知的障害のある人たちを含むアーティスト大集団「音遊びの会（神戸）」を招聘し、地域の演奏者と創り上げる音楽活動 meeting として、ワークショップ、コンサート、映画上映、トークの他、地域内3箇所の福祉施設へのアウトリーチ・ワークショップなども行い、障害と音楽の関係について具体的に体験しながら考えるまたとない機会になりました。

## 主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭 2023 実行委員会、いしかわ百万石文化祭 2023 金沢市実行委員会、公益財団法人金沢芸術創造財団、金沢市民芸術村アクションプラン実行委員会、展示力合宿 in かなざわ実行委員会、北陸つなげて広げるプロジェクト

地域文化発信事業

069

## 心のユニバーサルデザイン推進フェスタ

- 開催日：令和5年11月3日(金・祝)～11月4日(土)
- 開催会場：金沢市役所庁舎前広場、金沢市役所第一本庁舎エントランスホール、金沢市役所第二本庁舎エントランスホール

金沢  
エリア

金沢市



## ◆実施状況

障害のある人の多様な文化芸術活動を発信する作品展示やステージイベントなどを金沢市役所を会場に開催しました。

「障害のある方の作品展示」では、障害福祉事業所等で制作した個性あふれる絵画や工作などの作品計128点を展示し、日頃の創作活動の成果を披露する場となりました。

「障害のある方もない方も、共に楽しみながら交流できるブースの出展」では、手話体験、コード化点字ブロックの紹介、点字入り封筒やアート缶バッジ等のものづくり体験など、障害への理解を深めながら、障害のある人とない人がともに参加できる多彩なブースが出展されました。

「障害への理解を深めるためのステージイベント」では、高校生による手話パフォーマンス、補助犬ユーザーによるデモンストレーション、知的障害の特性を学ぶゲームなど文化芸術の視点も取り入れたパフォーマンスを通じて、共生社会の理念の浸透を図りました。

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会

地域文化発信事業

070

## 金沢建築文化フェスタ 建築文化セミナー／建築文化ワークショップ／建築とまちづくり展

- 開催日：令和5年11月15日(水)／11月25日(土)／11月6日(月)～11月30日(木)
- 開催会場：金沢市文化ホール／金沢市民芸術村／金沢市役所第一本庁舎

金沢  
エリア

金沢市



## ◆実施状況

金沢市の個性豊かな建築文化の継承とさらなる発展に向けて、一人一人が考える機会として、セミナーやワークショップ、展示会を一体的に開催しました。

## 【建築文化セミナー】

国内外で活躍している建築家の伊東豊雄さんをお迎えし、「人と自然が繋がる建築」というテーマで講演を行いました。伊東さんはプリツカー賞を受賞するなど建築家としての実績や知名度が非常に高く、示唆に富んだ貴重なレクチャーをいただける機会とあって、市内にとどまらず多くの方々に参加いただくことが出来ました。

第2部では、谷口吉郎・吉生記念金沢建築館館長の水野一郎さんらとのトークセッションで、建築がまちにもたらす意義から金沢で守り受け継がれてきた文化など幅広い話題提供があり、参加者が建築文化の魅力に改めて気づきを得る機会となりました。

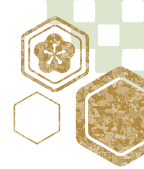
## 【建築文化ワークショップ・建築とまちづくり展】

小学4～6年生の参加者が、地元大学生らの指導を受けながら、金沢らしさを取り入れた建築をプランニングし模型の制作を行いました。未来の建築家の担い手となりうる子どもが実際の設計手法に触れ、建築とまちづくりを考える機会の創出に繋がったほか、制作された作品は、金沢市役所にて展示しました。

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会





金沢  
エリア

金沢市

071

# オペラ「禅」～ZEN～ version2.0

- 開催日：令和5年11月23日(木・祝)
- 開催会場：金沢歌劇座



## ◆ 実施状況

日本の禅文化を世界に紹介した哲学者鈴木大拙とその友人西田幾多郎の半生を描いたオペラを上演しました。

今回の公演は、2022年1月に初演したオペラ「禅」を国民文化祭のスペシャル版として、台本、作曲、演出を改訂し、さらに迫力あるステージに昇華させました。

出演者は、国内トップクラスのソリストを揃え、合唱団、ダンサー、助演47名は地元の方が出演し、管弦楽は、地元のプロオーケストラであるオーケストラ・アンサンブル金沢が務めました。この公演を通じ、プロと多くの市民が同じ舞台上に立つ貴重な機会となりました。

また、再演にあたり、大拙・幾多郎の家族等を登場させ物語に奥行きを加えると共に観客に時の経過を感じてもらうため、舞台上の時代や大拙の年齢にあわせた衣裳(早着替え含む)・メイクを施しました。

さらに、オペラをより親んでもらうために、公演前日に初めてバックヤードツアーを実施し、参加者にはオーケストラピットの見学や本番照明を舞台上で体験する等、普段できない体験をしていただきました。

### 【プログラム】

全2幕(日本語・英語字幕付) 作曲：渡辺俊幸 / 台本：松田章一 / 指揮：ミハエル・バルケ / 演出：三浦安浩

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、公益財団法人金沢芸術創造財団、公益財団法人石川県音楽文化振興事業団 ▽特別協力 北国新聞社、一般財団法人石川県芸術文化協会

金沢  
エリア

金沢市

072

# わくわく子ども国民文化祭

- 開催日：令和5年11月25日(土)～11月26日(日)
- 開催会場：石川県政記念いのき迎賓館、石川県立能楽堂、金沢歌劇座



## ◆ 実施状況

11月25日、26日の2日間にわたり、子ども達を対象に、金沢ならではの多彩な文化を体験できるイベントを実施しました。

「伝統文化体験」では、金沢素囃子や茶道、生け花、金箔貼り、和菓子作りなどが体験でき、「音楽文化体験」では、箏、三絃などの和楽器や、バイオリン、トランペットなどの洋楽器の演奏体験を行いました。

さらに、26日の「子ども能楽フェスティバル」では、子ども達による能楽の発表会のほか、プロの能楽師が教えるワークショップも開催し、能面を付けて歩く体験や楽器の演奏など、能の魅力を感じていただきました。

また、同日には、「親子で楽しむオーケストラの世界」を開催し、全国から集う特別編成のアマチュアオーケストラ(総勢110名)による迫力のあるステージで、久石譲作曲オーケストラストーリーズ「となりのトトロ」やブルックナー作曲交響曲第4番「ロマンティック」を演奏し、多くの親子に音楽の楽しみ方を発見していただきました。

各会場では多くの子ども達が参加し、「楽しかった」「また参加したい」といった声も寄せられ、親子で楽しく伝統文化や音楽に触れ、親しむ機会となりました。

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、一般財団法人石川県芸術文化協会、金沢市音楽文化協会、公益財団法人日本アマチュアオーケストラ連盟

073

文化団体事業

## ブリッジ体験教室 トランプゲームの王様コントラクトブリッジを短時間でお手軽に体験!

- 開催日：令和5年10月14日(土)～10月15日(日)
- 開催会場：石川四高記念文化交流館 2階 多目的利用室

金沢  
エリア

金沢市



## ◆実施状況

スポーツのアジア競技大会や大学の授業でも採用され、人気上昇中のトランプゲームの王様「コントラクトブリッジ」を短時間で手軽に体験できるイベントを金沢ブリッジクラブと連携して開催しました。

国民文化祭としては、4年ぶりの開催となった体験教室には、2日間でシニア層を中心に約50名が参加され、ゲーム体験などを通じて、その魅力を知っていただきました。

また、体験教室には、村山卓金沢市長も視察・体験され、「次はもっと上手にできると思う」と、短時間でゲームのコツをつかむなど、初めての方でも簡単に遊ぶことができることをアピールできました。

2日目には、聴覚障害のある人が参加され、筆談ボードを活用して、ほかの参加者と同じテーブルでゲームをしていただきました。参加者からは、「障害のある人も一緒に楽しむことができ、感動した」との声が寄せられました。

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

074

文化団体事業

## 大正琴の祭典 加賀百万石で奏でる大正琴

- 開催日：令和5年11月12日(日)
- 開催会場：金沢市文化ホール

金沢  
エリア

金沢市



## ◆実施状況

全国各地より大正琴愛好家が集い、子供の部と一般の部の2部構成で開催しました。

「子供の部」は、「令和5年全国子供大正琴コンクール」の最終選考会として実施し、審査はソロ部門とアンサンブル部門をそれぞれ年齢によって分け、4つの部門で行いました。本祭典には、40団体131名の応募の中から一次選考会の上位者の16団体58名が出演し、コンクールを目標に練習に取り組んできた成果が発揮され、来場者に深い感動を与えました。また、卓越した演奏により大正琴音楽技術の向上を多くの方に認識していただくことができ、次世代への継承に繋がりました。

「一般の部」では、石川県内を始め全国の愛好者17団体593名が、多彩なジャンルのアンサンブル演奏を「文化絢爛」の石川の地に発信しました。幅広い年代層の愛好者を集い、息の合った迫力ある音色は来場者を巻き込み、地域・世代を超えた交流を深めることができました。

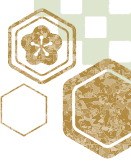
## 【表彰】

子供の部「文部科学大臣賞」 ※ソロ部門Bは該当者なし

- ・ソロ部門A(12歳以下) 吉富心音(三重県)
- ・アンサンブル部門A(平均年齢12歳以下) クインテット ソナーレ(三重県)
- ・アンサンブル部門B(平均年齢12歳を超える) 大正琴ファンタジー・琴音人「パニラ」(京都府)

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、公益社団法人大正琴協会

金沢  
エリア

金沢市

075

文化団体事業

## きもの祭典

- 開催日：令和5年11月18日(土)、19日(日)、25日(土)、26日(日)
- 開催会場：本多の森北電ホール、石川県文教会館



## ◆ 実施状況

石川県が誇る「加賀友禪」など、日本の伝統文化である「きもの」の魅力を全国に発信するイベントとして、「きもの」に関する展示やファッションショーなどを3つのイベントにより開催しました。

これらのイベントでは、全国からの来場者や参加者と交流を持ちながら、きものを見て、学んで、楽しむことができ、さらに、地場産業（加賀友禪）の魅力も発信するなど、「きもので石川を元気に」することができました。

## 【きもの祭典 ON きものショー】(11月18日、19日)

全国各地の5歳から75歳までの一般応募から選ばれた人や金沢文化服装学院の学生ら135名がステージに立ち、「普段着ることのないきもの」や「現代風にアレンジしたきもの」などを披露しました。このほかにも、現代の「きもの」の原点であり、色彩や文様などの繊細な感性を育んだ「平安十二単」の優雅な美しさを紹介するステージや、加賀友禪の魅力を発信するステージも同時に開催し、「きもの」の魅力を発信しました。

## 【きもの祭典 国際文化きものショー】(11月25日)

「きもの」を愛する国内外からの参加者80名が、「きもの」と着付け技術、出演者の表現力を競うコンテストとランウェイショーに出演しました。このほか、加賀友禪の大家・由水十久さんと染物作家の亀山知彦さんによる講演会や全国各地（産地）の「きもの」の展示を行いました。

## 【きもの祭典 in 金沢】(11月26日)

加賀友禪や王朝装束「十二単・直衣」の展示のほか、「現代のきもの」と題し、花嫁、振袖、華の舞など、音楽に合わせたショーや、源氏物語を通して十二単を紹介するショーなどを開催しました。

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、特定非営利活動法人日本きもの文化振興会、一般財団法人国際文化きもの学会、一般財団法人民族衣裳文化普及協会

文化団体事業

076

## 全日本健康マージャン交流大会 加賀百万石に生まれ 世代を超えた出会いと交流 健康マージャン・文化絢爛

- 開催日：令和5年11月18日(土)～11月19日(日)
- 開催会場：金沢労働者プラザ

金沢  
エリア

金沢市



## ◆実施状況

全国各地の予選を勝ち上がった7歳から91歳までの健康マージャン愛好者440名と有名プロ雀士8名(ゲスト)が加わり、腕を競い合う交流大会を2日間にわたり開催しました。

大会は、会場内を香箱蟹・加賀友禅・兼六園・鼓門という金沢市ゆかりの4つのゾーンに分け、初日はペア戦、2日目は個人戦を行いました。それぞれ対局時間は50分の半荘戦で、対局者を組み替えながら4ゲームずつ行い、ペア戦1～8位、個人戦1～8位と2日間の個人総合成績による総合1～4位までを表彰しました。

北は北海道、南は沖縄県まで全国各地から集まった選手同士の対局では、開始前に世代を問わず和やかに談笑するなど、地域間交流や世代間・世代内交流を深めることができました。

会場内では有名プロ雀士による「ふれあい対局コーナー」を実施し、一般来場者との交流により、健康マージャンの技量の研鑽を図ったほか、マージャンの歴史と文化を伝える展示コーナーでは、現在に至るまでの国内の普及の歴史や活動状況などをパネルや映像で紹介するなど、健康マージャンの魅力を全国に発信しました。

## 【表彰】

文部科学大臣賞 古林 良春(石川県)

## 主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、一般社団法人日本健康麻将協会、一般社団法人日本スポーツ麻雀協会、一般社団法人全国麻雀役位審査会

文化団体事業

077

## 詩(うた)の祭典 新しい抒情(うた)を求めて～

- 開催日：令和5年11月26日(日)
- 開催会場：金沢ニューグランドホテル

金沢  
エリア

金沢市



## ◆実施状況

「樹」をテーマに全国から事前に作品を募集し、老若男女を問わず現代詩の創作意欲を高めました。「小学生の部」、「中学生・高校生の部」、「一般の部」の3部門で799点の応募があり、2次にわたる審査を経て、文部科学大臣賞など18名が入賞しました(県内6名、県外12名)。授賞式当日には、県内外16名の入賞者が参加し、自ら作品も朗読しました。

また、「新しい抒情(うた)を求めて」と題した上田正行さん(金沢大学名誉教授)の記念講演に続き、詩と音楽のコラボレーションを実施しました。かけがえのないふるさとの父や母、友へ、そして、戦いのない世界へ、平和への祈りを込めて、石川詩人会会員の詩を映像とともに投影し、ヴァイオリンやピアノの生演奏にのせて朗読する「詩と音楽のコラボレーション『樹は詩う』」を実施するなど、現代詩の持つ多様性や可能性を表現しました。

## 【プログラム】

- ・オープニング 金沢児童合唱団 ・「詩のコンクール」授賞式
- ・審査員紹介・審査報告(石川詩人会理事 中谷泰士)
- ・受賞作品朗読(各受賞者)
- ・記念講演「新しい抒情(うた)を求めて」上田正行
- ・詩と音楽のコラボレーション「樹は詩う」

※文部科学大臣賞受賞作品はP142に掲載

## 主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、日本現代詩人会、一般社団法人日本詩人クラブ、石川詩人会